

Think the earth, Think the future

株式会社 **クリーンセンター**
 福岡県北九州市門司区新門司3-67-9
 フリーダイヤル 0120-023-326
 TEL 093-481-4523 FAX 093-481-4529
<http://www.clean-center.co.jp>



私たちは Jリーグ ギラヴァンツ北九州 を応援しています



ユニバーサルデザイン (UD) の考えに基づいた
 見やすいデザインの文字を採用しています。



環境・社会報告書 2015 CSR REPORT

株式会社 **クリーンセンター**





Contents	
会社概要／編集方針	1
沿革	2
事業内容	3-5
トップメッセージ	6
KPI	7
環境方針／ 環境マネジメント体制	8
マテリアルバランス	9
環境データ	10
環境への取り組み	11-12
地域とのかかわり	13
安全へ向けて	14

社 是
社会への貢献
地域との調和



会社概要

Company Profile

商号	株式会社クリーンセンター
代表者	酒田 雅央
設立	1978年
資本金	1,000万円
従業員数	16名
所在地	福岡県北九州市門司区新門司3-67-9
加盟・参加団体	北九州商工会議所 公益社団法人 福岡県産業廃棄物協会 一般社団法人 処理施設技術管理者協会 一般社団法人 北九州防災協会 公益財団法人 北九州国際技術協力協会 九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ (K-RIP) 北九州環境ビジネス推進会 NPO法人 九州環境カウンセラー協会 ふくおか石膏ボードリサイクル研究会 公益財団法人 門司法人会

編集方針

Editorial Policy

報告対象組織	株式会社 クリーンセンター
報告対象期間	2014年4月～2015年3月 (※一部対象期間外を含む)
発行時期	2015年4月
参考ガイドライン	環境省「環境報告ガイドライン」(2012年版)
お問合せ先	株式会社クリーンセンター 担当:川野 〒800-0115 福岡県北九州市門司区新門司3-67-9 フリーダイヤル 0120-023-326 TEL 093-481-4523 FAX 093-481-4529 E-mail: marketing@clean-center.co.jp

沿革

Company History

- 1971 個人創業
- 1972 タンク塔槽化学洗浄事業開始
- 1978 株式会社クリーンセンター 設立。資本金 4,000千円
ロータリーキルン式焼却炉設置
産業廃棄物処分業許可取得
- 1981 燃料系リサイクル事業開始
- 1983 廃プラスチック類処理設備設置
- 1988 廃酸・廃アルカリ処理設備設置
- 1989 環境関連資機材開発販売事業開始
- 1992 産業廃棄物収集運搬業許可取得
大型破碎設備設置
資本金 10,000千円に増資
特別管理産業廃棄物収集運搬・処分業許可取得
- 1993 厚生労働省より「厚生省生活衛生局長感謝状」を受賞
- 1996 破碎設備(移動式)設置
(社)全国産業廃棄物連合会より「地方優良事業所表彰」を受賞
一般貨物自動車運送事業許可取得 事業開始
- 1998 (社)全国産業廃棄物連合会より「功労者表彰」を受賞
「福岡県知事表彰」を受賞
- 1999 廃プラスチック類 リサイクル原料事業開始
- 2000 北九州市より「平成11年度産業廃棄物処分業優良業者」を受賞
- 2002 廃石膏ボードリサイクル設備設置
- 2003 船舶廃油処理事業許可取得
- 2004 環境省より「環境大臣地域環境保全功労者表彰」を受賞
- 2005 北九州市より「平成16年度産業廃棄物処分業優良業者」を受賞 継続表彰
圧縮設備設置
- 2006 油水分離設備設置
ISO14001:2004(JISQ14001:2004)認証取得
優良性評価制度基準適合(北九州市・特管収運)福岡県内第1号
チャイルドスポンサーシップに参加(現在も継続中)
- 2007 優良性評価制度基準適合 北九州市処分業者第1号
(北九州市・中間処理/福岡市・特管収運/北九州市・収運)
- 2008 優良性評価制度基準適合
(福岡県・特管収運/北九州市・特管中間処理/佐賀県・収運/福岡県・収運/
久留米市・収運/佐世保市・収運/長崎市・収運)
- 2009 (社)全国産業廃棄物連合会より「優良事業所表彰」を受賞
ISO14001:2004(JISQ14001:2004)更新 認証取得
産学官連携「ふくおか石膏ボードリサイクル研究会」設立
優良性評価制度基準適合(長崎県・収運/佐賀県・収運/大分県・収運/大分市・収運)
木くず破碎設備追加設置
- 2010 北九州市より「平成21年度産業廃棄物処分業優良業者」を受賞 継続表彰
優良性評価制度基準適合(福岡市・収運)
第1回こどもお茶会開催(以後毎年1回開催)
- 2013 太陽光発電事業開始(30.9kW)
- 2014 (公社)全国産業廃棄物連合会より「功労者表彰」を受賞
- 2015 北九州市「産業廃棄物排出事業者・処理業者認定制度」に基づく審査において
「北九州市認定産業廃棄物処理業者」として認定

Staff
環境ハッピー
アクション

愛車プリウスは常に
エコモードで燃費目
標を死守!



取締役

岡崎 尚文

家族が一つの部屋に
集まり、節電&コミュ
ニケーションUP!
一石二鳥!!



業務Gr. 統括リーダー

前田 信行

会社概要・沿革

事業内容

トップメッセージ

KPI・環境方針
環境マネジメント体制

マテリアルバランス
環境データ

環境への取り組み

地域とのかかわり
安全へ向けて

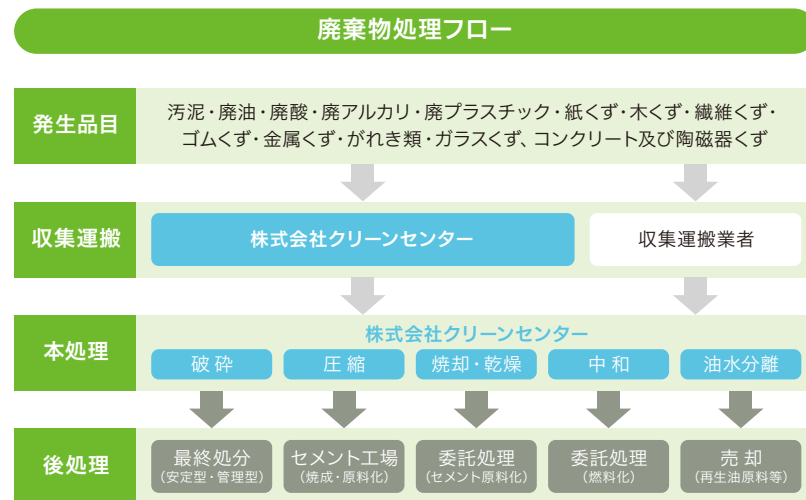
事業内容

Business Outline

C 廃棄物事業

廃棄物処分業

廃油・汚泥・廃酸・廃アルカリなどの工業系廃棄物、廃石膏ボード・木くず・がれき類・廃プラスチック類などの建設系廃棄物・固形廃棄物について、産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の区分を問わず幅広い種類の廃棄物の処理を行っています。また、アルカリ蓄電池、グラスウール(断熱材)、廃塗料類、クリーニング廃棄物、混合廃棄物などの処理困難物や小ロットで発生する廃棄物についても対応可能です。



処理設備

- 焼却設備
- 油水分離設備
- 中和設備
- 乾燥設備
- 破碎設備
- 圧縮設備

● 産業廃棄物処分許可品目／計12品目

- 汚泥
- 廃油
- 廃酸
- 廃アルカリ
- 廃プラスチック
- 紙くず
- 木くず
- 繊維くず
- ゴムくず
- 金属くず
- がれき類
- ガラスくず、コンクリート及び陶磁器くず

● 特別管理産業廃棄物処分許可品目／計3品目

- 廃油(引火性)
- 廃酸(腐食性)
- 廃アルカリ(腐食性)

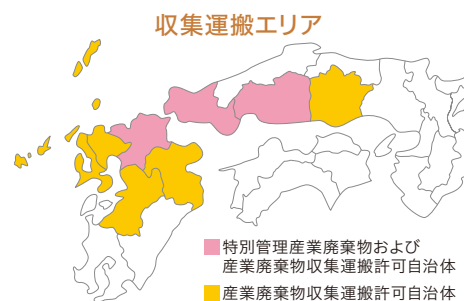
廃棄物収集運搬業

廃棄物の様々な種類・性状・荷姿に対応できるよう、各種車両を保有しています。収集エリアも中国地方から北部九州まで広域での対応が可能です。また、北九州市の一般廃棄物収集運搬も行っております。



パッカー車

コンテナ専用車



収集運搬エリア

- 特別管理産業廃棄物および産業廃棄物収集運搬許可自治体
- 産業廃棄物収集運搬許可自治体

● 運搬車両／計18台

- 脱着装置付コンテナ専用車 ……3台
- ダンプ ……1台
- キャブオーバ(クレーン付、パワーゲート) ……5台
- タンク車 ……4台
- 強力吸引車 ……3台
- パッカー車 ……2台

● 産業廃棄物収集運搬許可品目／計18品目(一部地域を除く)

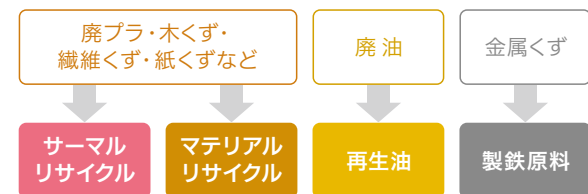
- 燃え殻
- 汚泥
- 廃油
- 廃アルカリ
- 廃プラスチック
- 紙くず
- 木くず
- 繊維くず
- 動植物性残渣
- ゴムくず
- 金属くず
- 鉱さい
- ばいじん
- がれき類
- 動物の糞尿
- 動物の死体
- 13号廃棄物
- ガラスくず、コンクリート及び陶磁器くず

● 特別管理産業廃棄物収集運搬許可／計8品目(一部地域を除く)

- 廃油(引火性)
- 廃酸(腐食性)
- 廃アルカリ(腐食性)
- 鉱さい
- ばいじん
- 燃え殻
- 汚泥
- 廃石膏綿等

C リサイクル事業

処理方法、処理工程を改善した当社オリジナルのリサイクルフローの構築により、常に高いリサイクル率の達成を目指しています。特に廃石膏ボードについては、九州工業大学・福岡大学との産学連携を図り、北九州市環境未来技術開発助成事業により100%再資源化を目指した実証実験を数年にわたり実施しました。



木くず破碎設備



廃油油水分離設備

廃石膏ボードの再生

国内でも大型の処理能力を持った設備にて、建築工事・解体工事から発生する廃石膏ボードの100%リサイクルを目指しています。石膏ボードは分別することでリサイクル可能になり、環境対策にも貢献できます。

これまでのあゆみ

2002年	廃石膏ボード専用リサイクル設備導入
2004～2005年	九州工業大学との共同研究を実施し、特許申請
2009年	産学連携でふくおか石膏ボードリサイクル研究会を数社共同で立ち上げ
2009年～現在	福岡大学との共同研究を実施 北九州市環境未来技術開発助成事業により実証実験を実施
2013年	福岡県リサイクル製品認定制度による認定資材



Staff
環境ハッピー
アクション

自宅でもウォームビズ&クールビズ仕様で、冷暖房をなるべく使わない!



業務Gr. 班長
宮城 和司

牛乳パックは確実にスーパーのリサイクル置き場へ!



業務Gr. 副班長
蝶野 忠幸

会社概要・沿革

事業内容

トップメッセージ

KPI・環境方針
環境マネジメント体制

マテリアルバランス
環境データ

環境への取り組み

地域のかかわり
安全へ向けて

月並みですが、
エコバッグ使ってます！



取締役
酒田 美智子

高効率給湯器や節水型
トイレへチェンジ！



管理Gr. 業務Gr. 兼任
川野 秀樹

事業内容 Business Outline

C 化学洗浄事業

船舶廃油処理事業

船舶において生じた廃油は、海洋汚染の防止の一環として「海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律（海防法）」において、排出が原則として禁止されています。受入処理を行うためには適切な計画を有し、廃油処理施設が国土交通省令で定める技術基準に適合する必要があり、極めて公共性の高い事業と言えます。

当社は国土交通省より許可を受け、国内外各種船舶の廃油の収集・処理を行っております。また、外国船舶の場合には必要な通関手続きも実施致します。



【許可番号】九運海船第72号

【主な外国船舶対応実績】

- ・KDDI PACIFIC LINK
- ・SVED BORG
- ・M/V ASIA ACE
- ・ASIANA BREEZE
- ・STELLA ELTANIN など

船舶廃油の種類	ビルジ	船舶の機関室区域などから漏出した燃料油、潤滑油等が船底に流入し、海水等と混ざって油性混合物となったもの
	バラスト水	船舶の航行の安全をはかるため、貨物槽、二重底等に積載した水に油が混入した油性汚水
	タンク洗浄水	貨物油艙・燃料油槽及び潤滑油槽を洗浄する際に発生する油性汚水
	コレクトオイル	ビルジを油水分離器により船内で処理したあとの油性混合物
	スロップオイル	外航タンカーのタンク洗浄水及び水バラストを静置又は重力分離等の方法によって船内で処理したあと、船内に貯留される油性汚水
	スラッジ	貨物油艙・燃料油槽及び潤滑油槽の底に沈殿する固形物並びに燃料油、潤滑油の清掃の際に発生する油性固形物

化学洗浄事業

薬品タンクから側溝清掃まで、目的に応じて施工致します。

【例】油水分離槽の清掃／油種変更のためのタンク清掃／
非破壊検査／暗渠の目詰まり／消防検査対応



C 環境コンサル事業

太陽光発電事業

リサイクル施設の屋根にて太陽光発電を実施しております。

- ・出力…………… 30.9kWh
- ・CO₂排出削減量…約20.0t-CO₂/年※
- ・推定発電電力…32,629kWh/年

※ 温対法にて公表されている当該年度の排出係数（九州電力）にて算出（パネル設置や設備維持管理に伴って排出されるCO₂は含みません）



脱臭剤

臭気の原因を分析し、最適な脱臭材をご提案、販売しています。オーダーメイドも可能です。

【例】有機酸、メルカプタン、硫化水素、アンモニア、アミン など

環境教育等事業

環境関連技術資格者、環境カウンセラーをはじめとする様々なエキスパートが在籍しています。環境にやさしいリサイクルやごみの減量化など、環境・廃棄物分野のお困りごとがございましたらご相談ください。

Top Message

確実に、堅実に、ひとつひとつ。
地域と環境の調和を目指して。

株式会社クリーンセンター 代表取締役

酒田 雅央

環境・社会報告書2015発行にあたって

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
この度、当社として初めての環境報告書、「環境・社会報告書2015」を発行させて頂くことになりました。本報告書は、当社の環境配慮活動についてはもちろんのこと、地域社会とのコミュニケーション活動や安全衛生活動をまとめたものです。是非ご一読頂き皆様のご理解を賜るとともに、当社の環境・社会活動に対して忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

愛すべき廃棄物ひとつひとつと向き合う

当社は1971年に個人創業、タンク塔槽などの洗浄事業からスタートし、40数年の事業活動を経て現在に至っています。近年では、廃棄物収集運搬・処分事業、廃棄物リサイクル事業、船舶廃油の取扱いを含めた化学洗浄事業、環境コンサル事業を4つの柱として事業を展開しております。

その中で主軸となっている「廃棄物処理事業」は時代の潮流と共に少しずつ事業の形を変え、多種多様な廃棄物を様々な形でリサイクル処理することが可能になりました。しかし、いくら技術が発達しても、素晴らしい設備があっても、人による手作業を加えないとリサイクルが困難なものは発生致します。このように手の掛かる、愛すべき廃棄物ひとつひとつと向き合い、確実に堅実にリサイクル処理を実施することが当社の使命であり、社会的な役割だと捉えております。

また当社の事業は、お客様に喜んで頂くという観点

から「サービス業」であり、お客様、協力会社様、地域の皆様などステークホルダーとの関わり合いが大変重要です。おもてなしの心を社員一人ひとりが持つことがステークホルダーの皆様からの信頼に繋がると考えております。今まで以上に皆様と良いコミュニケーションを図ることができるよう、社員教育活動も更に推進していきたいと考えております。

「社会への貢献」「地域との調和」

環境・社会活動は、社是である「社会への貢献」「地域との調和」を追い求めていくことだと考えております。当社事業活動は環境に直結しているものと感じていますが、当社の社員と社員のご家族を含めた地域の皆様のご理解と支えがあって実施できております。廃棄物と真摯に向き合うという当社事業を通じて、環境課題解決のための一過程を担うことを地域の家計の担い手創出に繋げ、地域の皆様とともに北九州の発展に寄与していきたいと思ひます。

創業50年という大きな節目に向かって

当社は創業50年という大きな節目に向かって歩んでいます。ここまで来ることが出来たのも地域の皆様、お客様、協力会社様など様々な方に支えられ、そして社員が共に汗を流してくれたおかげだと感じています。関わりのあるすべての方々に心より感謝申し上げますとともに、今後も当社事業が環境課題解決の一助となれるよう邁進してまいりますので、より一層のお引き立てとご指導ご鞭撻を賜れば幸いです。

KPI Key Performance Indicators

環境・社会貢献活動のKPI (Key Performance Indicators：重要業績評価指標) を策定しています。
当社はKPIの管理・策定を定期的に行い、社会情勢に合わせた活動を推進していきます。

C 環境目的・目標と結果 2012年度～2014年度／ISO14001

環境目標	KPI	取組内容	2012年度目標/結果	2013年度目標/結果	2014年度目標/結果	評価
CO ₂ 排出量削減	過去3年間の 平均比削減割合	・車両運行時のエコドライブ実施 ・処理作業の効率化 ・電力使用量削減	1%削減/ 4.5%増加	2%削減/ 7.8%削減	3%削減/ 12.2%削減	◎
電子マニフェストの 使用先拡大	電子マニフェスト 新規取扱先件数	・電子マニフェストの 使用先確保	新規取扱先 5件獲得/8件獲得	新規取扱先 5件獲得/9件獲得	新規取扱先 5件獲得/5件獲得	○
最終処分量 (埋立)の削減	過去3年間の 平均比削減割合	・処理工程、 処理作業の見直し	1%削減/ 4.6%削減	1%削減/ 6.1%増加	1%削減/ 1.8%増加	△
廃ブラのマテリアル リサイクル量の確保	過去3年間の 平均比向上割合	・選別精度の向上 ・リサイクル先および手順書の見直し	2%向上/ 10.1%向上	4%向上/ 44.5%向上	6%向上/ 8.7%向上	◎
廃油の リサイクル率向上	過去3年間の 平均比向上割合	・選別精度の向上 ・手順書の見直し	2%向上/ 4.2%減	4%向上/ 3.0%向上	6%向上/ 1.9%向上	△

【評価基準】 ◎：目標達成(120%以上) ○：目標達成(100%以上) △：取組実施・目標未達 ×：取組未実施

過去3年の結果は、良い結果が出た目標と良い結果が出なかった目標とが混在しています。良い結果が出た目標のうち、CO₂排出削減のついては部門毎に取り組みができる目標とせず、意図的に全社的な取り組みとして位置づけていたため、この目標を達成できたことが、今後の取り組みの大きな原動力となることを期待しています。

この結果を踏まえ、新たに3か年のKPIを策定しました。引き続きリサイクルの向上や最終処分量の削減にも取り組んで参りますが、新たにグリーン購入にも取り組み、また地域社会とのコミュニケーションや安全な事業活動についても指標を策定し、持続可能な社会の一員として持続可能な企業となれるよう精進して参ります。

2015年4月 代表取締役 酒田 雅央

C KPI 2015年度～2017年度

重要課題	分類	KPI	取組内容	2015年度目標	2016年度目標	2017年度目標
地球温暖化	CO ₂ 排出量削減	過去3年間の 平均比削減割合	・車両運行時のエコドライブ実施 ・処理作業の効率化 ・電力使用量削減	1%削減	2%削減	3%削減
	CO ₂ 排出量削減	低燃費車導入率 平成27年度基準低燃費車	・車両更新時に随時導入	10%以上	15%以上	18%以上
	有害物質の排出抑制	低排ガス車導入率 平成17年度基準 低排ガス重量車	・車両更新時に随時導入	28%以上	30%以上	32%以上
資源の枯渇	グリーン購入の促進	グリーン購入法 適合製品比率	・適合文房具類の使用 ・適合作業服等の使用	30%	40%	50%
	電子マニフェストの 使用先拡大	新規取扱先 獲得件数	・電子マニフェストの 使用先確保	5件獲得	5件獲得	5件獲得
	最終処分量 (埋立)の削減	過去3年間の 平均比削減割合	・処理工程、処理作業の見直し ・各種手順書の見直し	1%削減	2%削減	3%削減
	廃ブラの マテリアルリサイクル	過去3年間の 平均比向上割合	・選別精度の向上 ・リサイクル先および手順書の見直し	2%向上	4%向上	6%向上
	廃油の リサイクル率向上	過去3年間の 平均比向上割合	・選別精度の向上 ・手順書の見直し	2%向上	4%向上	6%向上
地域社会との コミュニケーション	地域社会との対話	地域での 活動実施回数	・こどもお茶会の継続開催 ・地域清掃活動実施 ・CSR教育の実施	5回以上	5回以上	5回以上
	企業情報の発信	情報公開の実施	・優良認定による情報公開実施	更新100%	更新100%	更新100%
安全な 事業活動確保	労働災害防止	労働災害発生件数	・労働安全教育の実施 ・安全・環境パトロール実施 ・ヒヤリハット報告書の活用	労働災害 0件	労働災害 0件	労働災害 0件

環境方針 Environmental Policy

基本理念

株式会社クリーンセンターは、産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬・処理、一般廃棄物収集運搬、船舶廃油処理、一般貨物運送事業の各業務を通じ、社是『社会への貢献』と『地域との調和』を実践するため事業活動を展開しています。

環境未来都市北九州で廃棄物を取り扱う企業として、地球環境と当社事業活動との深い関わりを認識し、豊かな自然との共存、地域社会との調和を目指し、北九州市が環境基本計画に掲げる「北九州市民環境力の継続的な発展」、「世界にひろげる低炭素社会づくりの推進」、「未来につなげる循環型社会づくりの推進」、「豊かさを支える生物多様性保全の推進と快適な生活環境の確保」の政策目標達成に寄与するとともに、環境マネジメント活動を推進することが経営の最重要課題の一つと位置づけ、以下の「活動指針」を定めます。

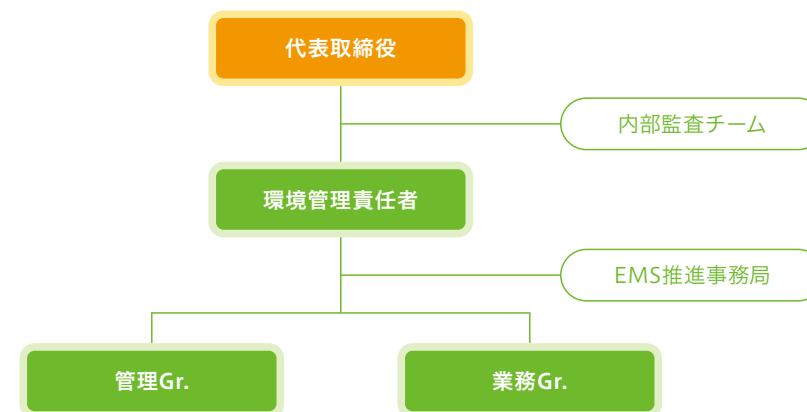
活動指針

- 当社が関わる法規制及び当社が同意するその他要求事項を順守します。
- 当社の事業活動が環境に与える影響を認識して、環境マネジメントシステムを推進し、継続的な改善を実施します。
- 事業活動を通じて汚染の防止に努め、技術的・経済的に可能な限り3Rを推進し、最終処分量を削減、環境負荷の低減に努めます。
- 技術的・経済的に可能な範囲で事業活動の省エネルギー化を推進し、低炭素化社会の構築へ寄与します。
- 社員一人一人の環境意識・社会意識向上のための機会を設け、あらゆる場面で社員全員が『社会への貢献』『地域との調和』の精神を発揮できるよう努めます。

2015年3月1日
株式会社クリーンセンター
代表取締役 酒田 雅央

環境マネジメント体制

Environmental Management System



Staff
環境ハッピー
アクション

会社の車、自分の車
運転する時は地球に
優しいエコドライブ！



業務Gr.
渡邊 智哉

節電・節水（請求書
を楽しくチェック）



業務Gr.
赤金 靖彦

会社概要・沿革

事業内容

トップメッセージ

環境
マネジ
メント
体制

KPI・環境方針
マテリアルバランス
環境データ

環境への取り組み

地域とのかわり
安全へ向けて

マテリアルバランス

Material Balance



環境への取り組み

Action to Environment

C 環境に関する講演実績

環境事業に携わる当社の代表を中心に、環境分野に関する講演を積極的に実施しています。

2015年3月3日に開催された環境セミナーでは、廃棄物処理業者として「排出事業者との連携について」と題し、当社の事例紹介をさせていただきました。排出事業者と処理業者の双方の立場から考えられる懸念事項を解消するために、優良産廃処理業者認定制度や当社の安心・安全面の活動、環境配慮活動、積極的な情報公開など、より良い連携を図るために実施している活動を紹介しました。



講演実績

開催日	主催者	講演名	演 題
2015年3月3日	環境省・公益社団法人福岡県産業廃棄物協会（共催）	環境セミナー「連携から生まれる3Rのカタチ」～排出事業者と処理業者の連携について～	優良認定事業者事例紹介
2014年12月2日	公益社団法人福岡県産業廃棄物協会	優良産廃処理業者認定制度・環境配慮契約法説明会	優良産廃処理業者認定制度について 環境配慮契約法について
2014年3月25日	公益社団法人福岡県産業廃棄物協会	優良産廃処理業者認定制度説明会	優良産廃処理業者認定制度について
2013年9月12日	公益社団法人福岡県産業廃棄物協会	優良産廃処理業者認定制度説明会	優良産廃処理業者認定制度について



C 北九州市 環境首都検定の受験

環境未来都市である北九州市の一員として「北九州市環境首都検定」一般編を社員全員で受験しています。検定受験は2009年より開始し、現在まで社員の約半数が合格しました。環境分野の業務に携わる企業として、正しい知識をもってお客様に安心なサービスをご提供できるよう、社員全員合格を引き続き目指してまいります。

また、環境首都検定合格者は次のステップとして「新CSR検定3級」を受験していきます。環境分野だけでなく社会面や経済面を踏まえたCSRの考え方を理解し、持続可能な社会の構築へ向けて行動できる企業になれるよう推進していきます。



私は一般編に合格しました。公式テキストで勉強した成果が実際の業務の細かな部分で活かしていることを実感しています。また、合格後は社内報に検定問題をのせ、みんなで合格を目指して私たち合格者も一丸となって取り組んでいます。

業務Gr. 班長 宮城 和司



「北九州市環境首都検定」とは？

市民の環境についての学習機会を増やし、環境意識のレベルアップや環境に関心を持つ市民の裾野を広げることを目的とし、平成20年より毎年開催されている。ジュニア編・一般編・上級編と3つの受験区分に分かれており、平成25年度の検定では合計2,141人が受験している。

C エコドライブの推進

ISO14001の認証当初より運転時のエコドライブを推進しております。北九州市も自動車環境対策としてエコドライブの推進を積極的に行っており、市主催のエコドライブ講習に参加したり「エコドライブ10のすすめ」を推進しています。運転中の細かいアクションが燃費の向上とCO₂排出量削減につながることを周知し、日々の活動として習慣化しています。



- ### 「エコドライブ10のすすめ」
- ① ふんわりアクセル「eスタート」
 - ② 加減速の少ない運転
 - ③ 早めのアクセルオフ
 - ④ エアコンの使用を控えめに
 - ⑤ アイドリングストップ
 - ⑥ 道路交通情報の活用
 - ⑦ タイヤの空気圧をこまめにチェック
 - ⑧ 不要な荷物は積まずに走行
 - ⑨ 駐車場所に注意
 - ⑩ 自分の燃費を把握しよう

「エコドライブ10のすすめ」の推進によって燃費の向上だけでなく、安全運転への意識も高まりました。環境負荷の低減と地域の安全を心掛けた運転を継続させて参ります。

業務Gr. 統括リーダー 前田 信行



C 社内緑化活動



入口にある花壇には四季折々の花々を植えております。また、事務所入口に季節に合わせた花を置き、ご来社いただく皆様をお迎えしております。ご来社いただく方々に晴れやかなひと時をご提供できるように今後も継続していきます。

C 地域清掃活動

当社周辺地域への恩返しの気持ちを表す活動の一つとして近隣地域の清掃活動を実施しております。会社周辺道路は毎朝、近隣にある新門司公園の清掃活動も定期的に行っています。

また、門司区の小学校で開催されたバザー終了後に出たゴミの処分をお手伝いをさせていただきました。学校関係者の方々に感謝のお言葉を頂き、私たちの主業務を通して社会に貢献できることの喜びと誇りを肌で感じております。



Staff
環境ハッピー
アクション

愛妻弁当で、弁当箱や割り箸のゴミを減量！



業務Gr. 班長
芳村 大輔

不要な電気をマメに消す&使用していないコンセントを必ず抜く！



業務Gr. 副班長
西田 敬

買い物にはエコバッグを持っていき、レジ袋はもらわない！



業務Gr.
田中 匠

会社概要・沿革

事業内容

トップメッセージ

KP・環境方針
環境マネジメント体制

マテリアルバランス
環境データ

環境への取り組み

地域とのかかわり
安全へ向けて

地域とのかかわり

Relation with the Area

C こどもお茶会の開催



日本の古き良き文化を、未来を担う子どもたちに体験して頂きたいという願いを込めて、2010年より地域の幼稚園児のみなさんをお招きし、「こどもお茶会」を開催しています。

通算5回目となる2014年度は11月13日に実施し、約30名の園児のみなさんをお迎えしました。地域の子どもたちとの貴重なコミュニケーションの機会となっております。

このこどもお茶会を通じ、日本文化を次世代に伝えるお手伝いを実施して参ります。



茶道にはおもてなしする側とおもてなしされる側の双方に、それぞれに対する配慮や気配りをする心得があります。この茶道を通じておもてなしの心を育てています。

園児のみなさんの素直な表情にいつも感動を頂き、お招きする側としても非常に楽しい時間となっています。地元の子どもたちの笑顔に触れ合う喜びを感じています。



管理Gr. 班長
柴田 かおり



業務Gr. 班長
芳村 大輔

C チャイルド・スポンサーシップへの参加



2006年より、特定非営利法人 ワールド・ビジョン・ジャパンが実施している「チャイルド・スポンサーシップ」に参加しています。この活動はひとりの子どもと繋がりながら、定期的な寄付を通じて途上国の子どもたちを取り巻く環境を改善する支援を行っていく活動で、改善を通して子どもに喜びや学習の機会をもたらし、可能性のある将来につながります。

当社ではエチオピアの イェザヌちゃん を支援しております。年に1回、彼女からの手紙や写真が来るたびに彼女の成長が見え、遠く離れたエチオピアと北九州で確かな繋がりを感じながら活動に取り組んでいます。今年は彼女に送るバースデーカードにかわいらしい文房具を添えて送りました。

「ワールド・ビジョン・ジャパン」とは？

貧困や紛争などにより、困難な状況の中で生きる子どもたちが、教育を受け健やかに成長することができるよう、彼らの住む地域に根差し、人々の力を引き出しながら段階的に貧困を解決する開発援助を行なっている組織。支援をする子供が特定され、その子供が取り巻く環境が具体的にわかることが特徴。2013年度は94カ国で410万人の子供を支援。

安全へ向けて

For Security

C 安全教育の実施



当社では定期的な安全教育を実施しております。

工場内での災害や車両運行時の事故を未然に防ぐためにヒヤリ・ハット※活動に力をいれています。社員全員が週に一度「ヒヤリ・ハット報告書」を提出し、その中でもよくあるケースと想定されるものは他部門にも共有しています。社内全体で注意喚起を図ることで事故の予防に繋がっており、これからもヒヤリ・ハット事例を蓄積し、継続的な事故予防活動に力を入れていきます。

※ヒヤリ・ハット：ヒヤリとしたり、ハットとするなど、事故が起こりそうであったが、幸いにも回避できた出来事のこと。

「ひやりとした、はっとした」と感じた出来事は「ああ、事故にならなくて良かった」と放っておくとすぐに忘れてしまいます。この活動を通して身近に隠れている危険に気付くようになりました。事故を未然に防ぐのはもちろん、安全についての情報を共有するよい仕組みだと感じています。

業務Gr. 班長 米村 誠



C 安全・環境パトロール

当社工場内を対象にエリアを設定し、週1回の安全・環境パトロールを実施しています。安全の確保と同時に、工具の整理整頓といった工場内の美化や業務効率向上の観点を盛り込んだチェックシートを作成し、社員同士厳格な視点で行なっています。

危険や無駄を取り除き、安全かつ業務効率のよい環境づくりをこれからも推進して参ります。



Staff
環境ハッピー
アクション

気分の上がるピンクのエコバッグはどこに行くにも必需品です！



管理Gr. 班長
柴田 かおり

車のエコマークは常に点灯！急発進、急停車はせず、アイドリングストップ！



管理Gr.
平田 美幸

会社概要・沿革

事業内容

トップメッセージ

KPI・環境方針
環境マネジメント体制

マテリアルバランス
環境データ

環境への取り組み

地域とのかかわり
安全へ向けて